

2023年3月15日

各位

不動産投資信託証券発行者名
オリックス不動産投資法人 (コード番号 8954)
代表者名 執行役員 三浦 洋

資産運用会社名
オリックス・アセットマネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 田中 充
問合せ先 財務 IR 部管掌責任者 齋藤 洋輝
TEL: 03-5776-3323

資金の借入に関するお知らせ

本投資法人が資産の運用を委託する資産運用会社であるオリックス・アセットマネジメント株式会社は、2023年3月15日付で下記のとおり本投資法人の資金の借入を実施することを決定しましたのでお知らせします。

記

1. 借入の内容

借入先	借入金額 (百万円)	利率		借入 実行日	返済期日	借入・ 返済方法
株式会社三菱UFJ銀行 (グリーンローン) ^(注1)	2,500	固定	未定 ^(注2)	2023年 3月20日	2027年 12月20日	無担保・ 無保証、 期日一括返済
株式会社広島銀行	1,000	固定	未定 ^(注2)	2023年 3月20日	2028年 3月20日	
株式会社福岡銀行 (グリーンローン) ^(注1)	1,800	変動	基準金利(全銀協 3ヶ月日本円 TIBOR) + 0.17% ^(注3)	2023年 3月20日	2030年 3月20日	
株式会社西日本シティ銀行 (グリーンローン) ^(注1)	1,150	変動	基準金利(全銀協 3ヶ月日本円 TIBOR) + 0.17% ^(注3)	2023年 3月20日	2030年 3月20日	
株式会社SBI新生銀行	1,800	固定	未定 ^(注2)	2023年 3月20日	2030年 12月20日	
株式会社第四北越銀行 (グリーンローン) ^(注1)	1,000	固定	未定 ^(注2)	2023年 3月20日	2031年 3月20日	
株式会社りそな銀行 (グリーンローン) ^(注1)	1,000	変動	基準金利(全銀協 3ヶ月日本円 TIBOR) + 0.18% ^(注3)	2023年 3月20日	2031年 3月20日	
合計	10,250					

(注1) 当該借入は、前述の借入先が提供する「グリーンローン」であり、本投資法人が策定したグリーンファイナンス・フレームワークに基づき、適格クライテリアを満たす特定資産(グリーン適格資産)の取得への充当を目的として実施された借入金の返済資金の一部に全額を充当する予定です。なお、グリーンファイナンス・フレームワークの詳細については、本投資法人のホームページにございます「グリーンファイナンス」のページをご参照ください。

https://www.orixreit.com/ja/feature/initiatives6.html?id=ini_06_01

(注2) 利率については決定した時点で改めてお知らせします。

(注3) 利払日に支払う利息の計算期間に適用する基準金利(全銀協3ヶ月日本円 TIBOR)は、直前の利払日の2営業日前に決定します。基準金利(全銀協3ヶ月日本円 TIBOR)については、一般社団法人全銀協 TIBOR 運営機関のホームページ(<http://www.jbatibor.or.jp/>)にてご確認いただけます。

2. 資金使途

借入金の返済資金に充当するため

(注) 詳細につきましては、2016年3月25日付で公表した「資金の借入れに関するお知らせ」(返済期限2023年3月20日の借入金2,950百万円及び5,300百万円)、2018年2月16日付で公表した「資金の借入に関するお知らせ」(返済期限2023年3月20日の借入金1,000百万円)及び2018年3月27日付で公表した「資金の借入に関するお知らせ」(返済期限2023年3月20日の借入金1,000百万円)をご参照ください。

3. 本件借入実行後の借入金等の状況

(単位:百万円)

	本件実行前 (2023年3月15日時点)	本件実行後 (2023年3月20日時点)	増減
短期借入金	—	—	—
長期借入金	263,587	263,587	—
借入金合計	263,587	263,587	—
投資法人債	28,500	28,500	—
有利子負債合計	292,087	292,087	—
LTV(総資産ベース) ^(注)	42.9%	42.9%	—

(注) 「LTV(総資産ベース)」(%) = 有利子負債 ÷ 総資産見込額 × 100

「総資産見込額」とは、2022年8月期末時点における総資産額に2022年9月1日以降における有利子負債増減額及び出資金増減額を加減した金額をいいます。また、LTVは小数点第2位を四捨五入して記載しています。よって、LTVの増減に記載されている数値は、上記表中の数値の差異と一致しない場合があります。

4. その他投資者が当該情報を適切に理解・判断するために必要な事項

当該借入により、第41期(2022年8月期)有価証券報告書に記載の「第一部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 3 投資リスク」のうち「(1)②ロ 借入及び投資法人債に関するリスク」の内容に変更はございません。

以上